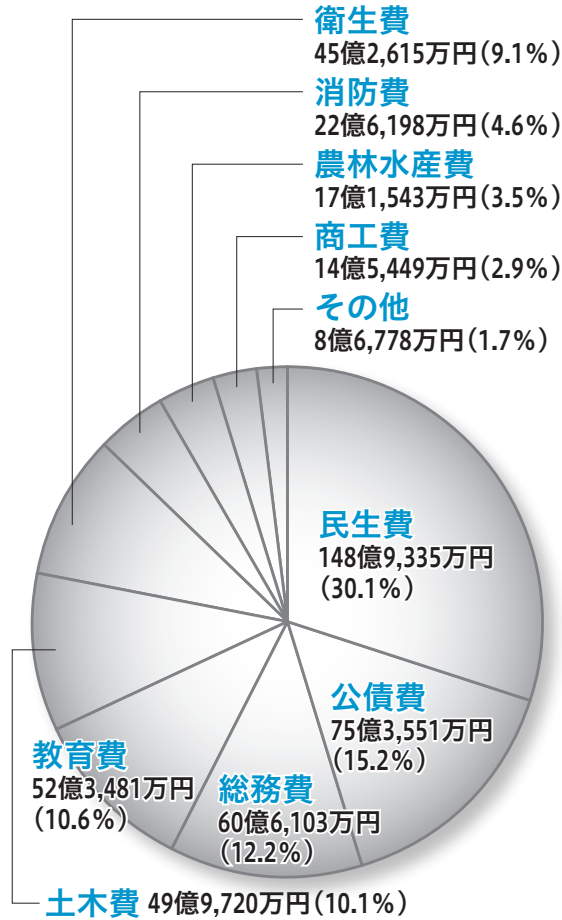


平成26年度決算と平成27年度予算執行状況
市の財政状況をお知らせします

●お問い合わせ／
市財政課財政係 ☎ 26・5780
八幡病院事務局 ☎ 64・3311
市水道局水道部管理課 ☎ 22・1811

歳出

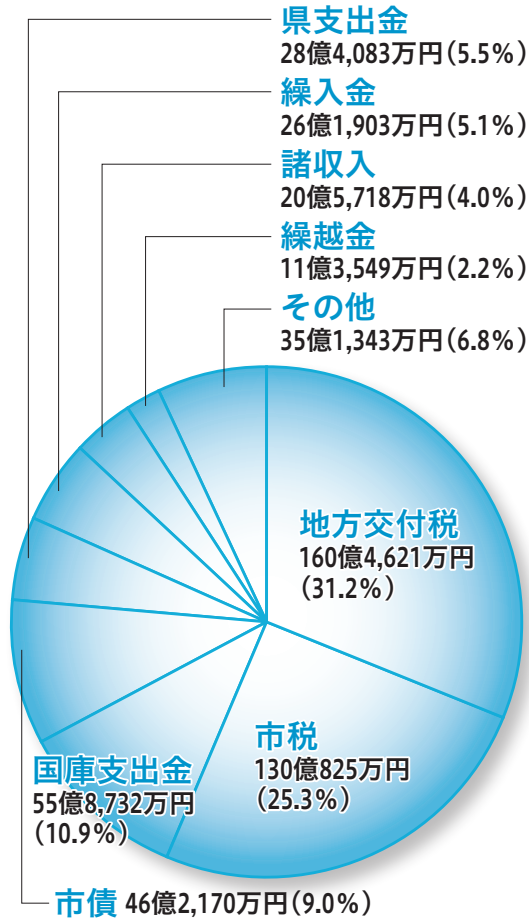
495億4,773万円



- 【民生費】 福祉、保育所などの経費
- 【教育費】 教育委員会、小中学校、社会教育などの経費
- 【公債費】 市債の元金、利子を返済するための経費
- 【総務費】 財産管理、電算業務、税の賦課・徴収などの経費
- 【衛生費】 健康診断などの保健関係やごみ収集などの環境保全に要する経費

歳入

514億2,944万円



- 【地方交付税】 国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のそれぞれ一定割合の額で交付されるお金
- 【市債】 返済金が一般会計年度を超える市の借金
- 【国庫・県支出金】 国や県から使途が特定されて交付されるお金
- 【繰入金】 基金を取り崩したお金

◎決算収支の状況

	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	形式収支 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実質収支 (E)=(C)-(D)
平成26年度	514億2,944万円	495億4,773万円	18億8,171万円	2億514万円	16億7,657万円
平成25年度	563億5,719万円	552億2,171万円	11億3,548万円	5,681万円	10億7,867万円
増減	△49億2,775万円	△56億7,398万円	7億4,623万円	1億4,833万円	5億9,790万円

歳入総額は514億2,944万円となり、前年度に対し49億2,775万円の減となりました。個人市民税がほぼ横ばいの0.1割の減少、法人市民税が26.6割、固定資産税が0.7割とそれぞれ増加しており、市税全体では2.2割の増となりました。また財政調

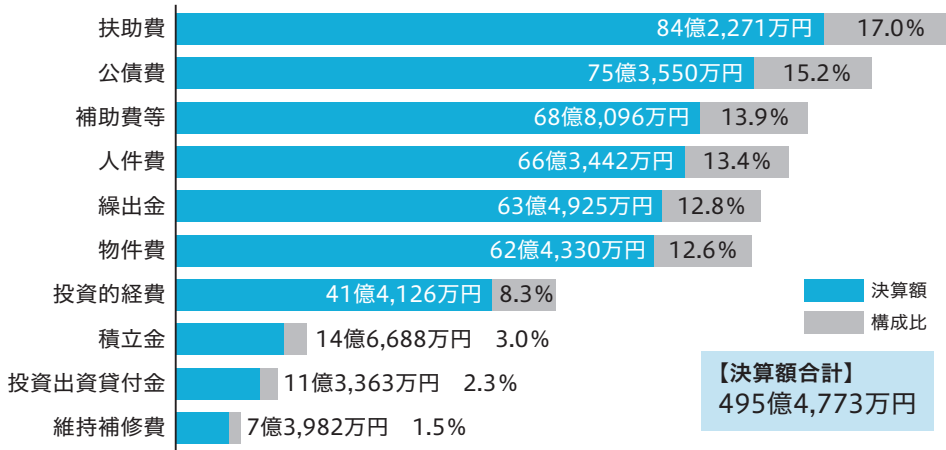
歳入の状況

減額となった主な要因は、平成25年度に実施した国の緊急経済対策が終了したこと、工事の遅れに伴う新庁舎整備事業費を平成27年度に繰り越したことなどです。翌年度への繰越事業に必要な繰越財源2億5,144万円を差し引いた実質収支では、16億7,657万円の黒字となり、健全な決算となりました。

18億8千万円の黒字決算(形式収支)

普通会計(行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計に診療所事業特別会計、駐車場事業特別会計を加えたもの)の平成26年度決算は、歳入総額514億2,944万円、歳出総額495億4,773万円、差し引き18億8,171万円を平成27年度に繰り越しました。

◎歳出の性質別決算状況(普通会計)



【扶助費】社会保障制度の一環として児童・高齢者の方などを支援する経費
 【補助費等】各種団体への補助金や負担金などの経費
 【人件費】職員給与、特別職報酬、共済費などの経費
 【公債費】市債の償還金
 【繰出金】特別会計などへの運営負担金
 【積立金】各基金への積み立て

【投資的経費】工事や大規模修繕などの投資経費
 【物件費】物品の購入や業務委託、施設の修繕などの経費
 【投資出資貸付金】他団体への投資・出資・貸付金
 【維持補修費】公共施設などの維持補修費

◎市有財産の状況

(平成27年3月31日現在)

土地	805万2,211平方メートル
建物	51万2,328平方メートル
山林	678万4,677平方メートル
基金	149億337万円
有価証券	2億2,563万円
出資金・出捐金	8億6,286万円
預託金・貸付金	56億1,559万円
船舶 (とびしま、し尿運搬船、 飛鳥海中体験丸)	3隻
自動車	367台

◎平成26年度公金の運用実績

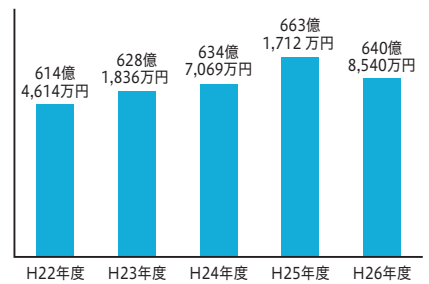
区分	1日当たり平均運用額	運用収入	運用日数
歳計現金※ など	34億 4,082万円	273万円	294日
基金	140億 637万円	2,692万円	1年間

※市の歳入歳出に属する現金のこと

◎市債(借金)の残高(普通会計、平成27年5月31日現在)

公共事業等(道路、港湾などの整備)	11億1,707万円
公営住宅建設事業	7億7,056万円
教育・福祉施設等整備事業(学校施設整備・社会福祉施設整備)	24億1,669万円
一般単独事業(道路、建物などの整備)	239億3,885万円
うち合併特例事業(市町村合併特例事業分)	164億2,919万円
過疎対策事業(過疎計画に基づく施設整備)	34億4,282万円
県振興資金(各種施設整備のため県からの借入金)	3億6,519万円
その他	320億3,422万円
合計	640億8,540万円

市債残高の推移



◎財政指標の状況

	酒田市 26年度	酒田市 25年度	酒田市 24年度	県内13市 平均	類似団体 平均	本市の数値は
一人当たり市債残高	59万7千円	61万円	57万7千円	47万2千円	36万6千円	県内・類似団体比較では多く、合併特例期間が終わるまでは高水準で推移する見込み
経常収支比率	93.1%	91.1%	91.8%	90.7%	91.1%	前年度より悪化、県内・類似団体比較では少し高い
財政力指数	0.453	0.449	0.448	0.479	0.743	前年度より悪化、県内・類似団体比較では低い
実質公債費比率	10.9	10.3	10.3	11.2	7.1	第三セクター等改革推進債等の償還開始により前年度より上昇した。県内比較では良好だが、類似団体比較では高い

【類似団体】人口規模と産業構造の組み合わせが似通った都市。本市を含む、岩手県花巻市、茨城県土浦市など全国の85都市
 【経常収支比率】経常的歳出(人件費、扶助費、公債費などの毎年必ず支払う経費)に占める経常的歳入(市税、譲与税、普通交付税などの毎年常に入ってくる財源)の割合。比率が低いほうが自由に使えるお金が多いことになる
 【財政力指数】標準的な行政活動を行う場合の支出に対し、市税等の標準的な収入でどれだけ賄うことができるかを表す。1を超えるか、1に近いほど余裕があることを示す。1を超える場合には、地方交付税が交付されないことがある
 【実質公債費比率】公債費による財政負担の程度を示す指標。公債費の額を標準財政規模の金額で除して算出する。18%以上の団体は、地方債の発行の際、県の許可が必要となり、25%以上の団体は、一般事業等の起債に制限がかかる

歳出の状況

整基金繰入金、振興開発基金繰入金などにより、繰入金金が171.8%の増、ふるさと納税寄附金などにより寄附金が1994.6%の増となりました。

一方、地方交付税が2.1%、国庫支出金が17.8%、県支出金が7.2%、地方債が50.1%とそれぞれ減となりました。

歳出総額は495億4千773万円となり、前年度に対し56億7千398万円の減となりました。

義務的経費のうち、国の要請に基づく職員給与削減の期間終了などにより人件費、合併特例債などの元金償還金の増などにより公債費、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金、子育て支援医療給付などにより扶助費がそれぞれ増となり、全体では5.5%の増となりました。

投資的経費については、新庁舎整備事業費を翌年度に繰り越し、義務教育施設関連整備事業費の減、大規模企業立地用地取得事業や国の緊急経済対策の終了により、前年度に対し53.6%の減となりました。

(8ページに続く)

◎平成26年度特別会計決算

会計名	歳入	歳出	収支
交通災害共済事業特別会計	2,649万円	2,221万円	428万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	118億5,089万円	118億851万円	4,238万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	7,959万円	7,784万円	175万円
後期高齢者医療事業特別会計	11億6,214万円	11億5,702万円	512万円
介護保険特別会計	119億3,000万円	116億3,966万円	2億9,034万円
診療所事業特別会計	9,673万円	9,146万円	527万円
公共下水道事業特別会計	48億2,996万円	48億1,030万円	1,966万円
農業集落排水事業特別会計	10億8,581万円	10億8,576万円	5万円
合併処理浄化槽事業特別会計	8,796万円	8,796万円	-
駐車場事業特別会計	2,570万円	2,195万円	375万円
定期航路事業特別会計	4億2,684万円	4億2,684万円	-

◎平成26年度水道事業会計決算

○貸借対照表(平成27年3月31日)

資 産	266億3,313万円	負債・資本	266億3,313万円
固定資産	220億4,815万円	固定負債	81億5,813万円
流動資産	45億8,498万円	流動負債	14億1,076万円
		繰延収益	4億1,552万円
		資 本	166億4,872万円

○損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

総収益	28億8,110万円	総費用	26億9,949万円
営業収益	26億9,524万円	営業費用	24億7,359万円
営業外収益	1億8,585万円	営業外費用	1億9,752万円
特別利益	1万円	特別損失	2,838万円
		純利益	1億8,161万円

◎平成26年度病院事業会計決算

○貸借対照表(平成27年3月31日)

資 産	17億6,235万円	負債・資本	17億6,235万円
固定資産	8億2,377万円	固定負債	3億7,748万円
流動資産	9億3,858万円	流動負債	1億4,047万円
		繰延収益	1,074万円
		資 本	12億3,366万円

○損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

総収益	6億8,840万円	総費用	7億8,351万円
医業収益	5億5,208万円	医業費用	6億6,762万円
医業外収益	1億3,625万円	医業外費用	2,368万円
特別利益	7万円	特別損失	9,221万円
		純損失	9,511万円

財政指標の状況

市の借金である市債残高は、前年度に対し3・4割の減となりました。この結果、一人当たり市債残高が減となりましたが、市債の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表した実質公債費比率は、利子負担の軽減のため元金償還開始までの据置期間を1年間と短くしていることに加え、地方交付税措置のない市債である第三セクター等改革推進債の償還を開始したことなどが影響し、前年度よりも0・6ポイント悪化しています。これに加えて経常収支比率も2・0ポイント悪化しており、財政の硬直化が一層進行しています。

平成26年度特別会計・企業会計決算

特別会計とは、特定の事業を行うために、一般会計と区別して個別に経理している会計です。本市が設けている特別会計の決算は上表の通りです。

この他、本市には水道、病院の2つの地方公営企業の企業会計があります。本市の企業会計の決算は上表の通りです。

◎平成27年度一般会計・特別会計予算執行状況（平成27年9月30日現在）

会計名	予算現額	支出済額	執行率
一般会計	544億7,582万円	204億9,823万円	37.6%
交通災害共済事業特別会計	2,988万円	1,049万円	35.1%
国民健康保険特別会計（事業勘定）	134億1,088万円	56億6,617万円	42.3%
国民健康保険特別会計（施設勘定）	8,394万円	3,056万円	36.4%
後期高齢者医療事業特別会計	11億6,609万円	3億8,147万円	32.7%
介護保険特別会計	119億5,131万円	47億9,699万円	40.1%
診療所事業特別会計	6,978万円	2,219万円	31.8%
公共下水道事業特別会計	58億5,560万円	20億8,139万円	35.5%
農業集落排水事業特別会計	10億8,891万円	3億2,143万円	29.5%
合併処理浄化槽事業特別会計	1億2,368万円	3,338万円	27.0%
駐車場事業特別会計	2,238万円	553万円	24.7%
定期航路事業特別会計	3億5,681万円	1億3,212万円	37.0%

◎平成27年度水道事業会計上半期予算執行状況

	予算額	執行済額	執行率
水道事業収益	29億4,721万円	15億4,474万円	52.4%
水道事業費用	28億3,352万円	11億5,630万円	40.8%
資本的収入	3億2,765万円	841万円	2.6%
資本的支出	15億2,750万円	4億3,756万円	28.6%

安全な水を安定的にお届けするために、さまざまな事業を行っています。今後もより一層の業務改善を図り、健全経営の持続に努めます。

【水道施設の更新】古くなった水道管を新しいものに更新する工事を行っています。今年度は、約5キロの水道管を更新する予定です。また中心市街地の老朽管更新工事（平成29年度まで）のほか、八幡簡易水道区域では施設整備事業（平成27年度まで）を行っています。

【水道モニター制度】今年度は9人の方々から水道事業の研修、浄水場の施設見学などを通して水道事業へ意見をいただいています。

【水道に関するお知らせ】水道ホームページ<http://www.water.sakata.yamagata.jp/>で、水道料金や諸手続きのほか、水道に関する情報を掲載しています。また酒田市水道お客さまセンターのFacebookも開設し、濁り水や断水の情報をいち早くお知らせしています。水道広報を年4回発行。出前講座も行っていきます。

◎平成27年度病院事業会計上半期執行状況

	予算額	執行済額	執行率
病院事業収益	7億1,979万円	3億4,691万円	48.2%
病院事業費用	7億8,966万円	2億9,587万円	37.5%
資本的収入	7,854万円	3,806万円	48.5%
資本的支出	8,013万円	3,876万円	48.4%

前年度同期に比べ収益は704万円の増、費用は3千652万円の減となっています。

今後も当院の特徴とする在宅医療や訪問看護、中山間地診療の充実を図るとともに、良質な医療の提供と経営の健全化に努めていきます。

【地域医療の充実など】

八幡病院では、高齢者や慢性疾患、在宅患者さんが多い中病気や介護状態になっても安心して生活できる地域として、医療、保健、福祉との連携を図りながら、地域の実情を踏まえた、地域医療の充実に努めています。

【医療機器などの整備】

今年度、更新導入を予定している医療機器は、腰椎・頸椎牽引器、マイクログ波治療器で、新しい機器に整備してより充実した医療の提供を行っていきます。

平成27年度一般会計・特別会計上半期予算の執行状況（9月30日現在、前年度繰越金を含む）

平成27年度一般会計予算現額は544億7千582万円です。上半期の支出済額は204億9千823万円、執行率は37.6%となっています。

●平成27年度予算の重点項目

① 未来の明るい酒田に向けた人口減少・少子化対策

② 大いなる飛躍に向けた社会基盤整備

③ 賑わいと活力、雇用を生み出す産業の振興

④ 市民の元気があふれるまちづくり

⑤ 安心が実感できる生活基盤整備

⑥ 持続可能な地域基盤の強化

山形新幹線庄内延伸や子ども医療費の無料化の中学3年生までの拡大、学童保育所の新設・開所時間の延長、移住促進や若者の地元定着に関する事業などに予算を配分し、人口減少対策の取り組みを一層充実させます。また地方創生への対応として、国の支援を積極的に活用しながら、10月に策定した地方版総合戦略、施策を着実に実現してまいります。